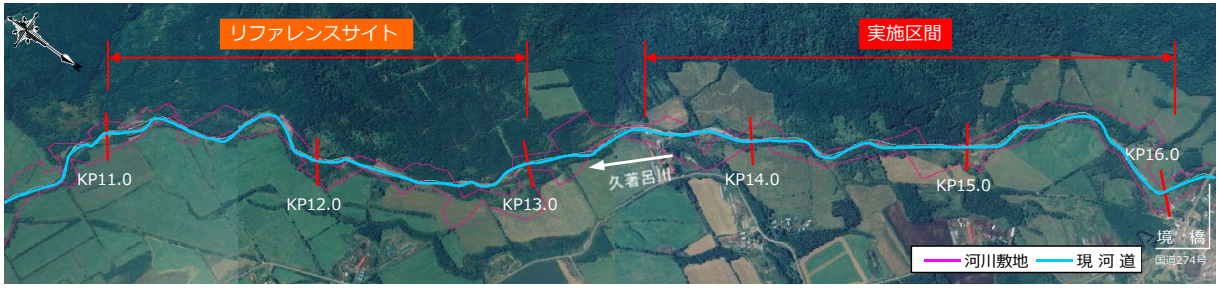
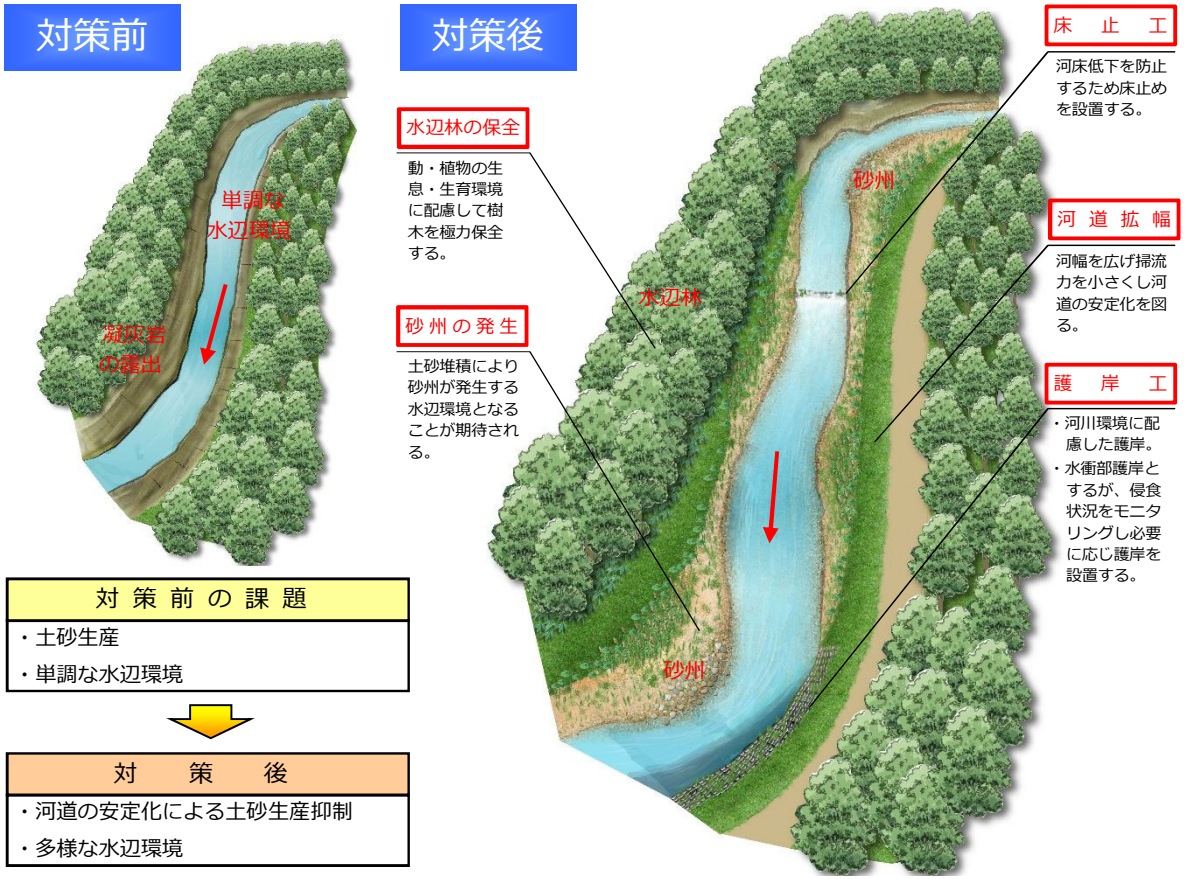
久著呂川における土砂流入対策について

①河道の安定化対策

釧路建設管理部

1.1　河道の安定化対策の概要





対策前の課題
・土砂生産
・単調な水辺環境

対策後
・河道の安定化による土砂生産抑制
・多様な水辺環境

●目標

湿原に流入する土砂量の軽減

多様な水辺環境の回復

●対策の効果

河川改修・砂利採取など、**人為的要因**で生じた土砂の生産量を抑えることで、以下の効果を発現させる。

（細粒土砂）540 ㎥ 軽減

（粗粒土砂）　70 ㎥ 軽減

●実施内容

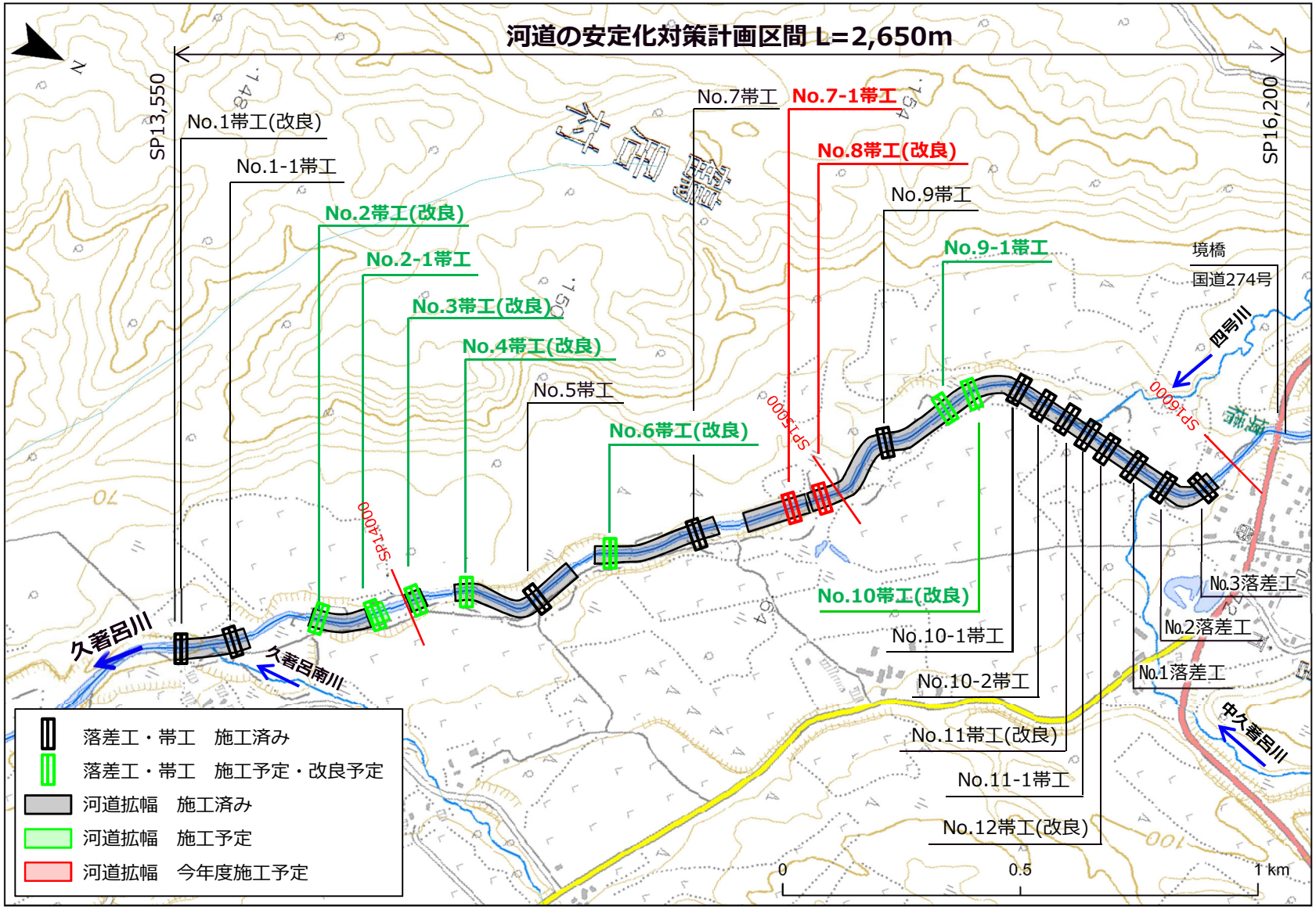
床止工

落差工　　3基

帯工　　20基

河道拡幅　　一式

1.2　実施状況


河道の安定化対策計画区間 L=2,650m
SP13,550
SP16,200
No.1帯工(改良)
No.1-1帯工
No.2帯工(改良)
No.2-1帯工
No.3帯工(改良)
No.4帯工(改良)
No.5帯工
No.6帯工(改良)
No.7帯工
No.7-1帯工
No.8帯工(改良)
No.9帯工
No.9-1帯工
No.10帯工(改良)
No.10-1帯工
No.10-2帯工
No.11帯工(改良)
No.11-1帯工
No.12帯工(改良)
No.1落差工
No.2落差工
No.3落差工
境橋
国道274号
四号川
久著呂川
久著呂南川
中久著呂川
SP14000
SP15000
SP16000
落差工・帯工　施工済み
落差工・帯工　施工予定・改良予定
河道拡幅　施工済み
河道拡幅　施工予定
河道拡幅　今年度施工予定
0
0.5
1 km

1.3　モニタリング

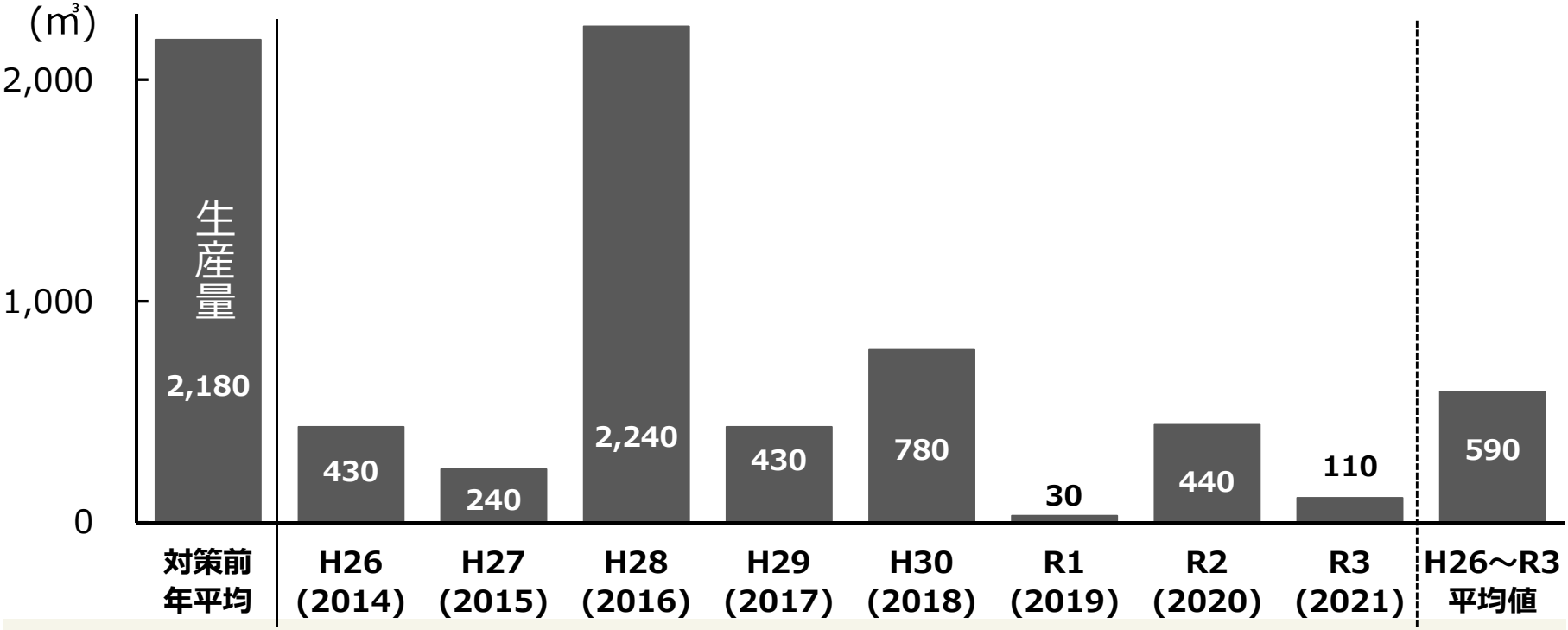
（1）モニタリング内容

実施計画の目標	目　　的	項　目	時期又は頻度
土砂生産源での流出量の抑制	①経年的な地形測量の実施による河道形状の変化の把握	河道形状（測量）	1年～数年に1回
	②代表地点における流量、流砂量の把握	流量、流砂量	1年～数年に1回

1.3　モニタリング

（2）モニタリング結果 ①土砂生産量の把握

■各年の土砂生産量



- 対策前の年間2,180m^{3}の土砂生産量に対し、8年間の平均で年間約590m^{3}まで抑制。
- すべての施設の整備後は、年間2,180m^{3}を抑制することを目標としている。